

# 麦の穂

第73号

2020年9月  
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX 022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : [muginokai@k5.dion.ne.jp](mailto:muginokai@k5.dion.ne.jp) <https://www.muginokai-koppe.com>

目次	コロナに関連して～コッペの現状～	飯嶋 茂	・・・	1p
	コッペレクレーションその1	高橋 秀幸	・・・	3p
	コッペレクレーションその2	後藤 祝子	・・・	4p
	新聞記事より ①		・・・	6p
	自己紹介	関 陽向	・・・	8p
	新コッペ店	阿部 央希	・・・	9p
	新聞記事より ②		・・・	9p
	3人6脚	日下 由美	・・・	10p
	アピール大行動実行委員会より		・・・	12p

## コロナに関連して～コッペの現状～

飯嶋

障害があっても街に出よう、多くの人と交流し、差別をなくしていこう、これが私たちの活動の原点です。コロナへの感染予防対策として言われていることは、私たちの思いとは真逆のものです。私たちの思い、積み重ねを否定するように感じます・

そして、感染した方への誹謗・中傷・差別は、障害のある人に向けられてきた差別と重なります。コロナの感染が異質のものを排除する考えを助長していないでしょうか。もはやだれが感染してもおかしくない状況。それにも関わらず、感染した人・感染者を出した団体が社会に謝るような状況は間違っていると思います。

感染防止は意識しながら、これからも私たちの思いを大切に障害のあるメンバーと共に歩んでいきたいと思っています。

コロナの感染が拡大するなかで思ったことは、対応はするけれど、できるだけ日常のコッペのペースは崩したくないということでした。思えば東日本大震災の時、1か月ほどたってやっとみんな揃ってコッペを再開できた時の喜びがあります。日常を取り戻すことの大切さ、逆に言えば日常を失うことの大変さ、そんなことを思うと出来るだけいつも通りでいようと思ったのです。

もともと食品を作っているわけですから、作業に入る前は自己申告ながらも

体調をチェックし、しっかり手を洗って、作業中はマスクを着用しています。

心配なのは休憩中。狭いから密になりやすいし、おしゃべりが好きな人はおしゃべりするし。なるべく離れて食べるようにとは言っていますが、みんなとごちゃごちゃしているのが楽しいんだよね。そこのところは少し心配。

コッペは普段送迎をしていないのですが、公共交通機関を利用している人に対し、出来る範囲で送迎も一時期行いました。でも20年電車通っている人からは、しばらくして「電車」って一言。送迎より電車で来たいという意思表示をされてしまいました。感染の危険性ということはあるのだけれど、この間積み重ねてきたものはやっぱり大事だよなど、改めて感じさせられた出来事でした。

売り上げは2~3割減っています。障害メンバーの工賃は3割減で支給せざるを得なくなっています。

多くの出店イベント等がなくなったことが大きく響いています。秋にかけてはイベントシーズンでかき入れ時ですが、今年にはほぼありません。

なんとかしなくてはと3月末以降、他の事業所と合同で「福の市」と銘打って販売会を行っています。空きスペースを借りたり、自分たちの事業所の敷地内で開催しています。コッペは普段土日休みですが、隔週ぐらいのペースで土曜日もコッペの駐車場にテントを張り、野菜等を福祉事業所から仕入れて「福の市」を開催しています。集客力は決して高くはありませんが、平日だと来れないのよ、といったお客さんもいらして、参加しているメンバーも楽しそうに販売しています。10月以降も隔週ペースで開催予定です。週に1度は東口にある櫻井商店さん(ヨドバシカメラさん隣)の前のスペースをお借りしても開催しています。

新しい出店場所として、仙台市の協力のもと、地下鉄仙台駅での自由通路の空きスペースを利用してふれあい製品販売会も始まっています(6ページの新聞記事参照)。

ホームページ上からも直接ができるようにしたいと思っています。

ハチ食品さんから委託生産している「ハチコロ」も定期的にご注文を頂いています。先日はレクレーションで秋保にある「HACHI」さんでランチをしてきました。現在他にも委託での生産を依頼されているものがあり、試作を重ねています。

「おてんとさん」の南方店・若柳店でもハーフサイズのクッキーを販売して頂いています。

中々元のように売り上げが戻るとは思えませんが、やれるところで努力したいと思います。みなさんからのご注文もお待ちしています。

\*市民による市民のための緊急支援「コロナ市民連帯プロジェクト@みやぎ」様より支援金を頂きました。障害福祉事業所の販売支援のために活用します。ありがとうございました。

\*難民を助ける会様より(イオン1%Club助成金を活用)、レンジフード改修工事費用の助成を頂きました。ありがとうございました。

コッペのフッキーを置いていただいている秋保里センター内「ハチHachi」秋保ワイナリーで飲食してきました。ハチHachiはハンバーグやナポリタン専門の店でした。

ナポリタンは、お皿に盛り付けてあったんですが、ハンバーグは小さいフライパンがお皿の替わりになっていてオシャレでした。

秋保ワイナリーは店内からブドウ畑見えて味を想像させる造りでした。

少量ですが試飲(200円)でき、お気に召したワインを買うことができました。

ワインを飲んで気分が良くなりワラの家という石臼を使ってコーヒー豆を挽いて飲みながら歌える歌声喫茶で過ごした後、隣接するアンティーク品等を販売する店を見ました。

貴重な体験ができておもしろかったです。

高橋秀幸 20×20

こんな近場で緑の風景と麓が楽しめるなんて…  
秋保に行ってきました。飯嶋さん運転で  
乗せていただき、一番に降り立った目的、秋保のプレミアム  
商品券でした。次…「cafe HACHI」さん  
から裏の嘉々峽に下り散策。急流や岩が絶景です。  
ちよつと清涼感に包まれ日常を忘れる思っていました。  
早めの昼食で「ハチホール」ポリタン。もちり食感で温泉  
たまごをからめたおいしさに満足でした。ここにはコッパ作  
「ハチコロ」が陳列販売されていました。次…「秋保ワイリー」  
建物の側面にぶどう畑があり、ワイリーを感じ、好きなワインを  
小グラスで飲めるのも魅力。コッパ作「赤ワイン入りのコンゴウ」  
売られていました。次…「らべんたあ」所狭しとならんだ  
珍しい小物雑貨。コッパのクッキー、手作り、パッチワーク。  
何でもありで、お気に入り見つけられます。次…「藁の家」  
その名の通り家の前の粘土と藁を混ぜて、外壁が  
塗られてました。ここでは、自分でコーヒー豆を、石臼(直径20)  
で回して挽いたコーヒーが飲めます。バラライカさんの  
ように、ピアノ伴奏でみんなで歌えます。参加者12人  
貸し切り状態ですよ。大声出しても回りは林なので  
大胆に歌ってストレス発散した。かもー。次…「さいち」  
のおはぎ。惣菜買って簡単食卓へ。



蕨の家のマスターは、バラライカの南部よし子さんのお兄さんでした。

この旅も泥<sup>ぬか</sup>るんだ道を、車椅子を押したり、引っぱりたり車への乗降など、飯嶋さんの手助けあってのこと、楽しくも感謝です。

コッパのクッキーは、このような素的な場所でも販売されていることも嬉しくて、今後もよい商品だと思います。

コロナ禍での対応で、マスク、アルコール除菌、密にならないなど意識しての旅。「cafe. HACHI」さんの入口に可愛いアマビエの妖怪人形が迎えてくれました。収束を願って思わず頭をなでました。



楽しい旅でしたよ!

2020. 9月5日記  
祝子



らいらいさよう  
磊々峡にて

# 心込めばっちり 食べてたっぷり ブースにっこり

仙台市が7月下旬から毎週金曜、市地下鉄仙台駅のコンコースで開く福祉事業所の販売会「ふれ地下」が好評だ。障害者が育てた新鮮野菜や手作りパン、菓子雑貨などを取りそろえ、屋時は販売ブースに人だかりができる。新型コロナウイルスの影響で、福祉事業所は厳しい経営が続く。市は増収を期待し、9月中旬までの開催予定を12月末まで延長することを決めた。

ふれ地下は毎週金曜午前10時半～午後2時半、南北線改札口がある地下1階コンコースの中

央1出入り口付近で開催する。毎回、市内の4事業所が出店し、パンやクッキーなどをかごに並べて販売する。

人通りの多い場所のため、買い物客が途絶えることはない。正午～午後1時のランチタイムは、老若男女がブースの前で足を止める。リピーターも徐々に増え、完売する商品もある。

NPO法人麦の会(宮城野区)が運営するパンとクッキーの店「コッペ」は4日、3回目の出店を果たした。新型コロナの影響で障害者製品の販売会が軒並み中止となり、減収のため、利

## 新鮮野菜と手作りパン 福祉事業所の販売会好評

用者の給料を3割カットする  
を得なくなった。

ふれ地下は、福祉事業所が反  
転攻勢に出られる絶好の機会。  
「普段は福祉事業所施設と  
が少ない市民にも、障  
害者の商品をアピールできる」  
と、販売会を歓迎する。

会場は地下鉄の定  
場跡地。2015年12月の  
開業に伴い構内の別の  
設され、一般利用の  
が始まったが、利用率  
は低く、半年に1回  
しか開催されない。

市交通局営業課の課長は「有効活用できる場  
所から、にぎわいが生ま  
れ、地下鉄を使って販売会  
に来る人が、一人でも多くな  
るといい」と期待を込める。

今回は11日に開催す

る

が反

転攻

勢に

出ら

れる

絶好

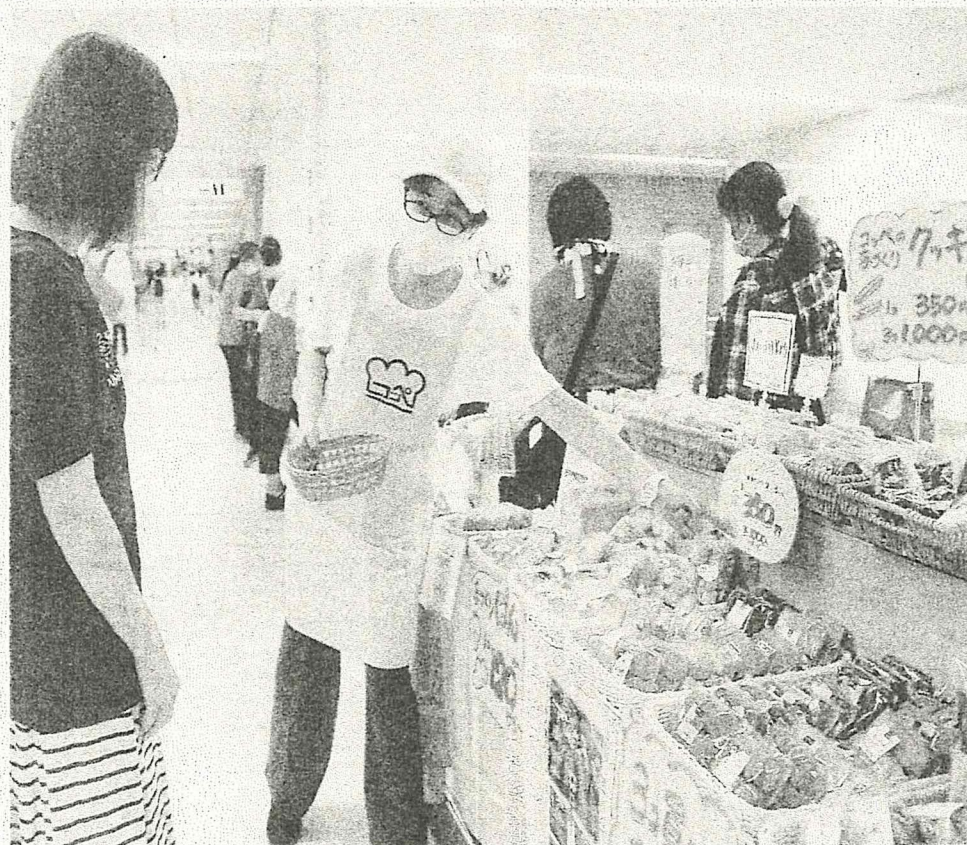
の機

会。

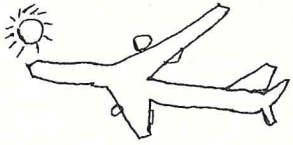
「平

常は

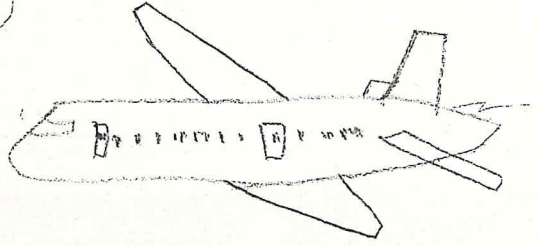
## 年末まで開催延長 市地下鉄仙台駅コンコース



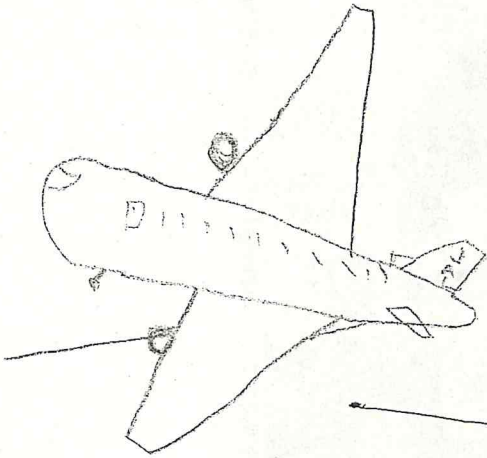
地下鉄仙台駅コンコースで毎週金曜に開かれる販売会「ふれ地下」11月4日



# 自己紹介

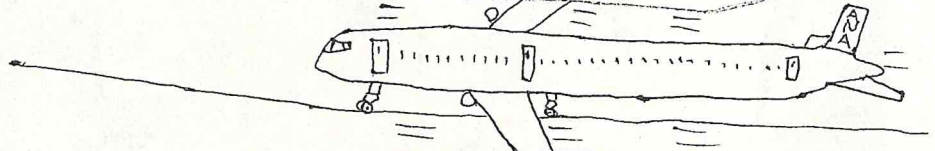


名前: 関陽向  
 誕生日: ①④④④  
 血液型: O型



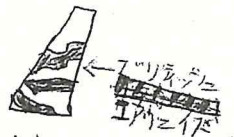
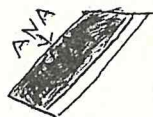
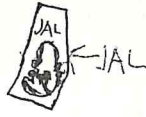
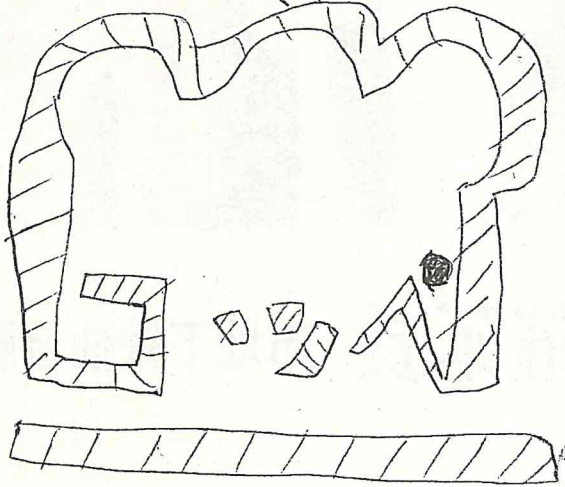
日本のパン・ケーキBEST3位

- 1... プリンパン
- 2... コッコンアール
- 3... クワハハツ



航空会社ランキング  
 ベスト4位

- 1... ANA 国内世界
- 2... JAL 国内世界
- 3... フリッピンエア (成田→ロンドン)
- 4... エールフランス航空 (羽田→パリ)



これからよろしくおねがいします

# 新コッペ店

阿音陝希

いつまでもこれから新しい

パンとクッキーのコッペ店ができる

よつにこれからもしっかり

おいしくできてお客さんにパンと

クッキーを買ってくれる事は一番

うれしいと思っています。

新しい気持ちはとてもおいしい

パンとクッキーのコッペ店です。

念のために注釈ですが、コッペに新しいお店ができるわけではありません。

販売ボランティアの荒木さんは、おもちゃドクターもやっていらっしゃるようです。コッペのこわれものも、ほぼ何でも直してくれます。ありがとうございます。

## ふみだす info

5/1 9/17

### おもちゃ修理の出前

仙台と塩釜で定期開催

仙台市のボランティアグループ「おもちゃ病院チャチャチャ」が、仙台市内や塩釜市の各会場で、壊れたおもちゃの修理を行っている。

9月は、13日ふれあいエスパ塩竈（塩釜市）、26日松森市民センター（仙台市泉区）で、いずれも午後1～3時。10月は泉区や青葉区、太白区で開く予定。

定年退職後に技術や知識を生

かそうと2007年に発足。現在は11人が、「おもちゃドクター」として「治療」（修理）に当たっている。

修理代は無料。部品交換が必要な場合は部品代がかかる。事前予約、もしくは当日持ち込みのどちらでも可。

連絡先・修理予約窓口は022(255)1570（鎌田）＝午前9時～午後5時＝か、080(1828)6628（荒木）＝午前9時半～午後5時＝。電子メールはyasu-cha-cha-0730@docomo.ne.jp

詳細はホームページ<http://omtyatvyatya.web.fc2.com/index.html>



# 三人六脚

## 最終回

2020-7-10 くさか ゆみ

六月六日、母はグループホームに入所しました。二日後、圧迫骨折したと連絡が入りました。すぐに駆けつけることができず、日を空けて面会に行くとは母は不機嫌でした。

もう死んだほうがまだよ  
帰りたい  
うっ 再発?

痛み止めが効いているのか母は元氣そうに見えました。離れて暮らした十カ月間一度も口にしなかったのにここにきて帰宅願望が出るとは思いませんでした。

帰りたい  
帰りたい  
ほあ...

母はレビー小体型認知症で『重度認知症病棟』に入院しましたが、いざ退院が決まると慣れ親しんだ病棟を離れまいと抵抗しました。

その手にはのらないよ  
母をさげる

ホームへの入所日も決まり、手続きも済んでいました。「退院」を「リハビリのための転院」という理由に変えました。母は渋々病院を出てホームに入りました。厄介だったのはコロナ情勢です。対面できない理由を母は理解できず親子関係はこじれていきました。

こつちに來なさい  
私の手をにぎりなさい

スカイプ面会中に

おかあさまん

画面から消える母。  
ほな サイナラ

不信感と置き去り感に包まれた、母の心は行き場のない怒りで一杯でした。不憫でなりませんでした。

はい?  
母は自分の家を覚えていませんでした。  
ドキ

アパートだよ  
あなたのアパート?  
ドキ

そうだよね 帰りたいよね  
どこに帰るの?

ウソをつきました。本当は妹夫婦と、犬と一緒に実家で暮らしています。母の家です。妄想性障害を発症した家です。家族にとって『恐怖の館』だった家です。母は私に申し訳なさそうに言いました。

アパートは物騒だね  
ここならいつも誰かいるし飯もでるし

私がここにいた方が  
あんたは安心して働けるんじゃない?

そ、そりゃ そうだよ  
そうだよ

この日のこの会話以来  
母は「帰りたい」と言  
わなくなりました。



コロナ事情で面会は月  
に二回まで、ですが母  
とは毎週末に会うこと  
を許されました。大き  
な声では言えませんが  
不安定な母のために専  
門のスタッフが特例を  
認めてくれたのです。  
ありがたいことです。

ホームに  
帰るまで...  
**秘**

家族で話し合い『私たちが元気で  
いなければ母を支えられない』と  
グループホームの道を選びました。  
母の人生を決めるには時間と労力  
が必要でした。疲弊しました。  
医療保護の必要な患者として優先  
してホームに入れてもらうことが  
できたのは不幸中の幸いでした。  
『穏やかに老いることの難しさ』  
を教えてくれた母だから穏やかに  
余生を過ごして欲しいのです。



妹56才  
夫64才

大輔は老いに磨きがかかり  
ました。犬は人の四倍のス  
ピードで老化が進みます。  
五感の衰えは否めませんが  
食欲は衰えません。消化の  
良い缶詰や歯周病に良いお  
やつに替えて食欲をサポート  
しています。小ボケにな  
り愛しさが増しました。



庭も断捨離



素晴

才18才

【お年頃家族の物語】

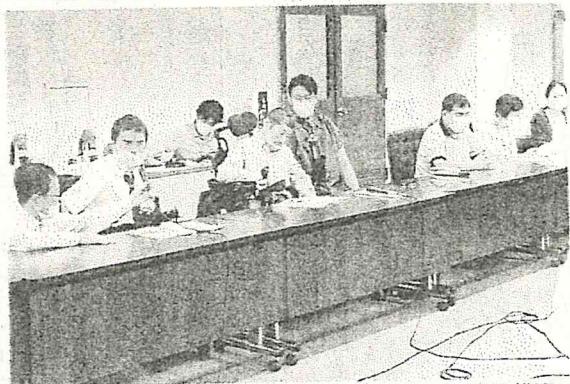
『逃げ出したいけど逃げられない  
日常』をマンガにしました。思い  
返す事が苦しい時期がありました。  
『描きながら気づくこと』も沢山  
ありました。それは母からの愛で  
あり、母への愛であり、妹夫婦や  
愛犬への感謝でした。  
絵が稚拙で悲壮感を伝えることが  
出来ませんでした。現実毎日  
が『模図かずお』の世界でした。



メールや葉書でメールを送って下  
さった皆さま、ありがとうございました。  
世の中みんなお年頃、優しい時代  
が来ることを願います。

# 障害者支援強化を

39団体、仙台市長にコロナ対応要望



新型コロナウイルスに対応した支援の強化を訴えた鷲見代表（左から2人目）

県内39の障害者団体や支援団体などをつくる「みやぎアピール大行動実行委員会」は8月28日、仙台市役所で郡和子市長と懇談し、新型コロナウイルスに対応した障害者や福祉事業者への支援強化を要望した。

鷲見俊雄代表は「新型コロナウイルスで私たちの状況は二重三重に苦しい。思いを受け止め、福祉行政に生かしてほしい」と訴えた。郡市長は「安心できるメッセージの発信に心を砕く。感染予防策や検査体制をさらに充実させたい」と応じた。

## 郡仙台市長との懇談がやっと実現！ コロナ禍の今、安心して暮らせるための しっかりした体制と差別をなくすメッセージを！

8/28（金）みやぎアピール大行動実行委員会が毎年行ってきた仙台市長への面談がやっと実現しました。鷲見代表から郡市長へアピール文等を手渡したあと、代表からは「代議士時代から一緒にやってきた郡市長ことにも触れながら、コロナ禍での大変な思いを是非施策に反映を」と伝え、郡市長からは「みなさんに会えて本当にうれしい。コロナ禍でも暮らしのサポートへの不安を解消するために、しっかりと体制を取る。“安心してください”という発信をしたい」と述べました。

アピール大行動 2020 News

9/4 No3 より転載



参加者からは、コロナ禍での障害当事者・家族・事業者それぞれから実感を語り思いを伝えました。

市長退席後、担当課との懇談では、要請回答への問題点の指摘や、コロナ禍での具体的な生活実態や不安等参加者から次々たされ、市の施策の具体的な発信を求めました。

当日は、アピール実委から10団体12名が参加。市側は郡市長、障害福祉部長他3名が対応しました。市議会派からも3会派6名の市議会議員が同席しました。

### みやぎアピール大行動 2020 開催のお知らせ

コロナ禍、差別、生きづらさ～それでも地域で私たちは生きていく～

日時 11月1日(日)13時～14時40分(予定) 当事者アピールを中心に行います

場所 エルパーク仙台セミナーホール(三越仙台店定禅寺通り館5F)

アピール行進 15時30分 元鍛冶丁公園出発